



2017.1.1
Vol. 50

北海道サケ ネットワーク Newsletter

発行 阿部周一
事務局 木村義一 札幌サケ協議会
〒004-0022
札幌市厚別区厚別南7丁目18-19
Tel/Fax : 011-894-0081
e-Mail : giichiketa@yahoo.co.jp



2016 年度総会終わる

- 2015 年度の活動および予算関係の報告があり、会計監査報告と共に全て承認されました。
- 2016 年度の収入、支出の中間報告について承認されました。
- 会計年度がこれまでの1月1日～12月31日から、4月1日～3月31日に変更することが承認されました。

会計年度・総会開催時期の変更

これまで総会の開催が11月のため、年度終了後に行われる監査結果の承認が、約10ヶ月先になる状態が続いていました。そのためこの間の収支については、「中間報告」で総会の承認を得るといった形をとってきました。

これらの状態を改善するために、会計年度及び総会の開催時期を変更いたしました。総会開催は、本年度から春期(4～5月)になります。

事務局に札幌サケ協議会

北海道サケネットワークの事務局は、これまで北海道サーモン協会によって担われてきましたが、協会は2016年春に解散しました。

替わって新たに設立された札幌サケ協議会が、2015年度総会の承認により、事務局とサケ会議(協会が協賛開催)を引き続き担当することになりました。

しかし、札幌サケ協議会は現在会

員を持たず、北海道サーモン協会の遺産運用で運営されております。そのため、今後のサケ会議開催に当たっては、経費軽減が重要であり、まず、サケ会議の経費で大きな比重を持つ会場費の節減が不可欠となっております。

会場確保の実情は、安価な公的会場(ex.Lプラザなど)は利用者が多く、特に秋には確保が困難な状況にあります。

2017 年度役員改選

本年は役員改選期に当たるため、従来通り選考委員会をもって選考し、16年度総会以降から就任することで承認されました。選考結果は下記の通りです。

- 代表(1名)…阿部周一<新>
(札幌サケ協議会)
- 副代表(1名)…寺島一男<再>
(大雪と石狩の自然を守る会)
- 事務局長(1名)…木村義一<再>
(札幌サケ協議会)
- 幹事(若干名)…千葉養子<再>
(とちかち・帯広サケの会)
…市村政樹<再>
(標津サーモン科学館)
…菊池基弘<新>
(サケのふるさと千歳水族館)
- 監査(2名)…佐藤信洋<新>
(豊平川さけ科学館)
…安達宏泰<再>
(北海道区水産研究所)
- 顧問…浦野明央
(北海道大学名誉教授)



旭川でサイエンス ・カフェ開催



北海道区水産研究所・旭川市科学館・大雪と石狩の自然を守る会が共催する「第5回サイエンス・カフェおさかな北海道」が、2016年12月10日(土)14～16時旭川市科学館(サイバル)学習研修室で開かれました。

「石狩川上流域にサケを呼び戻そう!-人工ふ化放流による野生サケ資源復活の試み-」をテーマに、水産研究所の伴真俊さんが講演。時機を得たテーマに加えて、分かりやすい実証的な話が大好評。42名(定員30名)の参加者が、コーヒーを飲みながらホットな2時間を過ごしました。

情報をお寄せ下さい!

会員の皆さんの動き・サケに関する情報・イベント等がありましたらぜひ事務局までご一報下さい。

tera2112@potato.ne.jp